

会場図

ブース展示

植物園会館 1F (8日) (9月)

- 1 京都大学フィールド科学教育研究センター
- 2 琴引浜ネイチャークラブハウス
- 3 深泥池水生生物研究会
- 4 京都府立農芸高等学校
- 5 京都北山やままゆ塾
- 6 NPO 法人 やましろ里山の会
- 7 京都産業大学 環境政策学研究室
- 8 (公財) 日本鳥類保護連盟京都
- 9 人と自然の共生ネット
- 10 鹿背山倶楽部
- 11 かせやまの森創造社
- 12 日本野鳥の会京都支部
- 13 NPO 法人 国際ボランティア学生協会 (IVUSA)
- 14 NPO 法人 自然観察指導員京都連絡会 (noi-Kyoto)
- 15 NPO 法人 亀岡人と自然のネットワーク

屋外テント (8日) (9月)

- 16 嵐電沿線フジバカマプロジェクト
- 17 (一社) 淡水生態研究所
- 18 (公財) 京都市環境保全活動推進協会
- 19 京都植物同好会
- 20 さすてな京都
- 21 チマキザサ再生委員会
- 22 NPO 法人 乙訓の自然を守る会
- 23 西山自然保護ネットワーク
- 24 大原野森林公園運営管理協会
- 25 鳥類標識調査グループ・関西
- 26 ミクロ・ライフ Project
- 27 プレコ暮らし
- 28 雲ヶ畑・足谷 人と自然の会
- 29 京都府立宮津天橋高等学校 フィールド探究部
- 30 関西ケリ研究会
- 31 京都自然教室
- 32 京の川の恵みを活かす会
- 33 (株) バイオーム

自然観察会

京都自然教室
1 京都自然教室 自然観察会 (植物園会館前のソテツ前集合)
(8日) (9月) 10:00-11:00、14:00-15:00
園内・賀茂川(園横)に生える野草を観察しながら、それを使った花籠作りをします。

日本野鳥の会京都支部
2 植物園でバードウォッチング (植物園会館前集合)
(8日) (9月) 10:00-11:30
植物園内で、野鳥の観察会を行います。渡り鳥が立ち寄る季節です。双眼鏡や望遠鏡を使って一緒に観察してみましょう。

NPO法人乙訓の自然を守る会
3 大原野産のフジバカマ見学会 (植物園会館前集合)
(8日) 11:00- (乙訓の自然を守る会ブース(22番)にて事前受付)
植物園で域外保全していただいている、大原野産のフジバカマ見学会を実施し、保全の在り方についてご説明します。

NPO法人自然観察指導員 京都連絡会 (noi-Kyoto)
4 noi-Kyoto 自然観察会 (植物園会館前集合)
(9月) 9:30-12:00、13:00-16:00 (noi-Kyoto ブース(14番)にて事前受付)
ドングリの木ってなんの木をさすのだろう? 園内を歩き気がついた草木や見頃の花を五感を使って観察します。

ワークショップ

(一財)池坊華道会
外来植物いけばな ~鴨川をいける~
(8日) 10:00-11:30 (受付方法:●)
鴨川の野の花を観察し、採取します。採取してきた植物を観察し、植物自体の面白さ、美しさを見つけながらいけばなにします。

近畿大学・米谷衣代先生
いきものたちの関係を支える香りと人間生活との関わり
(8日) 13:00-14:00 (受付方法:●)
いきものたちは他のいきものと“香り”を使い、情報を伝えることが知られています。香りの自然界での役割と人間社会での活躍について紹介します。

京都産業大学 OCF/PBL29 クラス
あそんで学ぼう! 生物多様性カードゲーム!
(8日) 9:20-10:30、14:30-15:40 (受付方法:◆)
神経衰弱のルールをもとにした、生物同士の関わりについて学ぶカードゲームを楽しもう!

京都府屋上緑化ボランティア「京緑隊」
押し花しおりづくり
(8日) 13:00-14:10 (受付方法:◆)
押し花を材料にして、しおりにします。小さなお子様でも楽しめます。

参加費の記載がないものは無料です。

植物園会館 2F 多目的室

受付方法: ● 総合案内にて先行受付・会場にて先着受付、▲ 会場にて先着受付、◆ 随時参加 OK

大谷大学・鈴木寿志先生
石になった生物たち
(8日) 11:00-12:00 (受付方法:●)
京都府内の生きもの由来の岩石標本(化石を含む)を通して、京都の自然を考えてみよう!

武田薬品工業(株)京都薬用植物園
薬用植物を五感で体験してみよう / 薬用植物ハスを用いたアクセサリー作り
(8日) 14:40-15:10 (受付方法:◆)
本物の薬用植物に触れたり、食べたり、匂いだり、五感で体験するワークショップと、薬用植物ハスを用いたアクセサリー作り体験を楽しもう!

屋外イベント

府立植物園職員による特別イベント
どングりとタネのワークショップ (8日)
13:00- 植物材料を利用した創作クラフト★
どングり、松ぼっくりなど園内植物を材料として、自由にクラフトしよう!
15:30- タネの散布体験★
植物の種子はどうやって拡がっていくのか? 高所作業車から飛んでくる種子を見よう!

NPO 法人 やましろ里山の会
竹蛇籠づくり体験 (8日) (9月)
10:00-14:00 (随時参加可)★
みんなで竹を編んで大きな竹蛇籠を作ります。生きものにも優しい伝統的な河川工法です。

深泥池水生生物研究会
いきもの大きさを比べてみよう
(9月) 10:00-11:00 (受付方法:▲◆)
木の葉の標本、魚やトンボの切り絵を使って、大きさの違いをみてみよう!

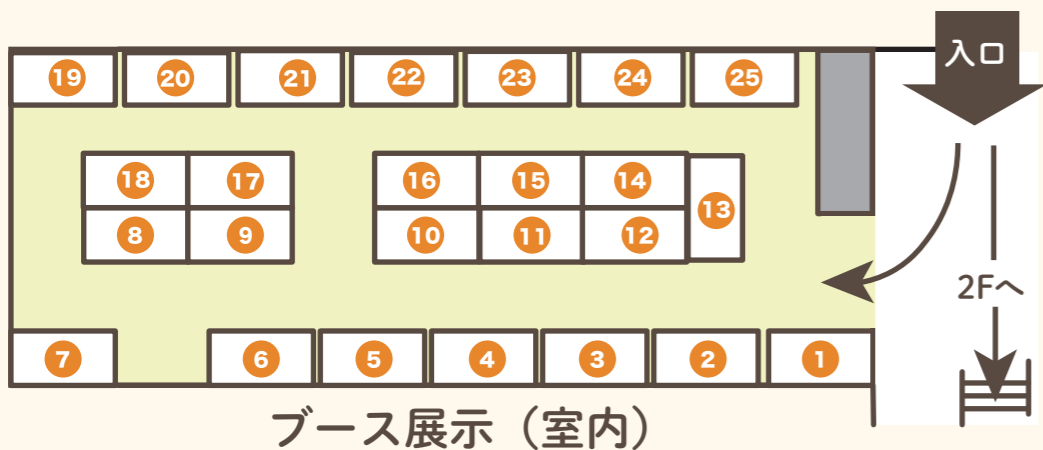
雲ヶ畑・足谷 人と自然の会
雲ヶ畑の素材を使った木のバッジ・おもちゃ作り
(9月) 9:30-11:30 (受付方法:◆)
木の枝や切り株、木の実をつかって名札やバッジをつくろう!

(公社) 京都府医薬品登録販売者協会
薬草よもやま話 ~薬草と健康長寿
(9月) 11:30-12:00 (受付方法:◆)
「薬草とは何か」をわかりやすく学び、健康長寿に役立つ薬草を知ろう!

ミクロ・ライフ Project
京都の川や池に住むプランクトンをモバイル顕微鏡で観察しよう!
(9月) 13:00-14:00 (受付方法:▲)
京都の水環境を支える目に見えない多様なプランクトンたちを実際に観察してみましょう。

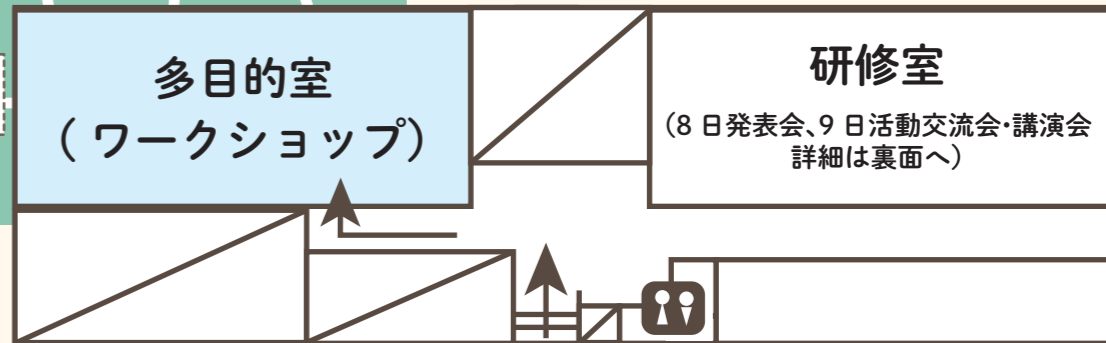
NPO 法人 やましろ里山の会
自然と遊ぼう! 松かさツリーづくり
(9月) 13:00-15:30 (受付方法:◆)
松ぼっくりを使ってかわいい「松かさツリーづくり」を行います。参加費:100円

→10/7,8は歴史館で下鴨中通ブックフェア 2023 開催中! 北泉門出てすぐ



植物園会館 1F

植物園会館 2F



研修室
(8日発表会、9日活動交流会・講演会
詳細は裏面へ)




住民参加型生物調査

きょうと☆いきもの調査


みんなでドングリを見つけよう！調べよう！

きょうと生物多様性センターでは、身近な自然環境の現状を把握することを目的に、第一弾としてドングリをテーマに住民参加型の生物調査を実施します！

調査対象種	調査期間	報告内容
府内で見られる ドングリの仲間	令和5年10月 ～令和5年12月	見つけたドングリ・月日・場所 (任意：写真、気付いたこと) (例：昨年と比べてドングリが少ない。など)
報告方法	 	
ポータルサイト「京・生きものミュージアム」上で報告▶		

—きょうと生物多様性センターについて—

当センターは京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につなぐため、生物多様性保全の取組を展開します。

Tel : 090-4496-3887
E-mail : contact@kyotobdc.jp
HP はこちら→ 

【本部オフィス】
京都市立植物園内
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町

【交流オフィス】
左京区役所2階 14番窓口
〒606-8511 京都市左京区松ヶ崎堂ノ上町7番地2

○開館日
毎週月曜日、水曜日及び金曜日
午後1時～午後5時(祝日・休日・年末年始を除く)

10/8 (日) -----

9:30-16:00

活動発表会「京都の自然を話そう！京都の自然でつながろう！」

自然環境保全京都府ネットワーク所属団体を中心に、自然や環境に関わる活動について発表を行います。併せて、中高生など若手による発表も行います。

9:30-9:50 「自然環境保全京都府ネットワーク」について～開会のあいさつにかえて
竹門 康弘 (自然環境保全京都府ネットワーク会長)

<午前の部> 以下、発表順	<午後の部>
9:50- 中川 光博 (西山自然保護ネットワーク) 宇野 洋平 (NPO 法人 亀岡 人と自然のネットワーク) 片山 耀斗 (京都市立鏡山小学校)	13:30- 森 豊彦 (人と自然の共生ネット) 宮崎 俊一 (NPO 法人 乙訓の自然を守る会) 日下 和羽・徳田 孝一郎・西原 幸佑・真下 大護 (京都府立宮津天橋高等学校 フィールド探求部)
10:50-11:00 休憩	14:30-14:40 休憩
11:00- 竹門 康弘 (京の川の恵みを活かす会) 古田 隼弥 (京都市立嵯峨中学校) 福井 千津 (NPO 法人 自然観察指導員京都連絡会)	14:40- 梶田 学 (日本野鳥の会 京都支部) 矢野 翔太 (京都市立西院小学校) 竹門 康弘 (深泥池水生生物研究会) 西野 護 (雲ヶ畑・足谷 人と自然の会)

<ポスター発表、パネル展示> コアタイム 12:00-13:30
丹下 研也・鳥居 万恭 (大原野森林公園 森の案内人)
石田 颯汰・齋藤 央僚・西山 蒼太 (京都府立農芸高等学校 園芸技術科 生物工学コース)
山村 武正 (NPO 法人 やましろ里山の会)
中村 桂子 ((公財) 日本鳥類保護連盟京都)

(敬称略)

10/9 (月・祝) -----

9:00-12:00


活動交流会 —生物多様性保全の担い手の拡大—

保全団体等の皆様が取組内容等を御紹介するとともに、講演者と参加者の皆様が交流する活動交流会を開催します。
※基調講演と取組紹介の会場参加は事前申込制、空席があれば当日参加も可能です。

(9:00- 受付、9:20- 開始)

基調講演「長年の環境学習の取組とそこから見えてきたもの」 京都精華大学 名誉教授 板倉 豊
取組紹介「京のヤママユの里づくりプロジェクト～虫たちを観て触れて知ること環境の現状と将来を考える～」 京都北山やまゆ塾
「若者と共に実生の風倒木を活用し鞍馬山の多様な森林生態系を守る」 鞍馬明日に向かって
「オオサンショウウオ×クリエイティブな活動で生物多様性保全」 田中 花音 (サイエンティフィックイラストレーター&デザイナー)

11:00- 意見交換 ※事前申込不要、途中参加可

オンライン視聴はこちらから→ 

13:00-16:00

きょうと・いきもの講演会「京都のいきものの面白さを話してもらおう！」

司会・コーディネーター 重原 奈津子 (きょうと生物多様性センター)

13:00- いきもの講演会について	
13:10- 「足環をつける調査で見えてくる京都の鳥類の多様な生態」	須川 恒 (鳥類標識調査グループ・関西)
13:50- 「生物多様性はなぜ大切か」	湯本 貴和 (きょうと生物多様性センター長)
14:40- 「虫こぶ研究からはじまった昆虫食」	武田 征士 (京都府立大学農学生命科学科細胞工学研究室・未来食研究開発センター株式会社)
15:20- 「京都ゆかりの植物を守る —キブネダイオウと芦生の森の希少種保全を例に—」	阪口 翔太 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

(敬称略)